

学生アルバイト開始



9月6日より、学生アルバイトが始まりました。学生たちは毎朝、弘前大学正門からのバスによる送迎や自家用車でフルツースデーシオンへ来てサンつがるの箱詰め作業をします。本所で作業を行う福井県出身の学生に希望した動機を聞いたところ、「大学生協で募集を見つけたので、進学で弘前に来たので、りんごの作業に一度触れてみたいと申し込みました」と笑顔で話してくれました。実家が農家でなくても、こうしたアルバイトを経験することで、農業に関心を持つきっかけになっていると感じられます。



大事な戦力となっています。

待ちに待ったお山参詣



9月10日、天気は良いものの、肌寒さを感じる中、午前7時に相馬有志会は岩木山へ向け出発しました。

この行事は、旧暦8月1日に「五穀豊穡」と「家内安全」を祈って岩木山へ参詣するもので、向山（むかいやま）、宵山（よいやま）、朔日山（ついたちやま）の3日間行われ、国の重要無形文化財にも指定されています。昨年からの祭りに参加している明治大学の学生や、地域づくりインターン会でこの地域を訪れている秋田大学の学生など、今年も若い方々が参加していました。

藤沢地区の宮川貴子さんは、息子さん、お孫さんと親子3世代で参加し、登山囃子に合わせ「サイギ、サイギ」と独特の掛け声で力強く周囲を盛り上げていました。昨年から参加している高校生の工藤



お手製の飾りステキです☆

君は、なんと衣装を手作りして参加するほどの熱の入りのようです。3年連続で参詣するとご利益があるとされるお山参詣。来春卒業予定の学生は「有休を取って参加します。」と話していました。こうしてお山参詣は、相馬有志会と多彩な参加者たちによってしっかりと受け継がれているのだと、改めて感じました。



サイギ〜サイギ



元気に大きくなってね！



ライスロマンクラブ刈取開始



9月12日、ライスロマンクラブの稲刈りが昨年より3日遅れで始まりました。例年は湯口地区から刈り始めていましたが、青森県のブランド米「青天の霹靂」の生産を支援するICTシステム「青天ナビ」のアドバイスに基づき、今回は紙漕沢地区から開始されました。「青天ナビ」は、衛星画像から水田の生育状況を解析してデータ化するシステムで、スマートフォンなどの端末を使えば、田んぼの中からでも適期収穫に必要な情報を確認できます。

花田勇人組合長は「今年は過去最高の品質で食味も良好。自信があります」と笑顔で語りました。刈取作業は9月25日に無事に終了しました。



一等米を目指し刈取作業が開始されました。

シャインマスカット収穫



9月12日、相馬ごども園支援センターの利用者親子24組は、シャインマスカットの収穫体験を行いました。同センターの笹先生によると、このイベントは支援センターで一番人気のごことです。始めに、当JA職員から美味しい実の見分け方や収穫時の注意点について説明がありました。収穫体験が始まると、袋をそつと下から持ち上げたり、中の色合いをのぞき込んだりしながら、お気に入りの1房を真剣に探す親子の姿があちこちで見受けられ、自分の顔よりも大きな房を収穫して大喜びする子どもや、「黄色味がかったものが美味しい」というヒントを頼りに、親子で一生懸命に美味しいものを探す姿が見られました。収穫体験を終えた参加者の皆さんは、自分で採ったシャインマスカットを大切にうに抱えて帰りました。



わーい！
大きいのが採れたー



令和8年産米初検査



9月15日、JAライスセンターで令和8年産「青天の霹靂」の初検査が実施されました。

ライスロマンクラブ役員、全農あおもり、JA役職員の見守る中で、検査が行われ、乾燥を終えた5袋のフレコンバッグ内の新米は、数々の検査項目をクリアし、無事に一等米に格付けされました。

検査後、全農あおもり担当者から挨拶があり、「現在、米余りの状況が非常に厳しい。例年であれば10月に新米へ切り替えるところだが、年内いっぱい7年産の過剰在庫を販売する。古米でも、何とか購入していただけるよう、販売努力を重ねてまいります」と述べられました。その後、検査員から一等米の検査証明書が各フレコンバッグに取り付けられました。



関係者が
見守る中、
初検査が
行われた

ベトナム向け輸出リンゴ



9月29・30日の2日間、晩生種のベトナム検査検査が実施されました。防疫官や全農あおもり職員、当JA職員の5名が登録樹のある23カ所の園地を回り、薬剤散布履歴や病害虫の状況、袋かけの管理等を園主に確認をしました。検査終了後の講評では、防疫官より「今回の検査に問題はありませんでした」と伝えられ、検査を受けた園主の方々は、みな安堵の表情を浮かべていました。

収穫まであと少しなので、最後まで気を抜かずにつかり園地管理を続けていただきたいと思います。



防疫官と
検査内容を
共有する

プラス

相馬小学校 稲刈体験



9月15日、相馬小学校の5年生17名が、女性部部長の田澤真由美さんの田んぼで稲刈りを体験しました。昨年からはまったこの学習は、当JA育苗センターの見学に始まり、5月に「青大の霹靂」の田植えを行い、今回の収穫を迎えました。児童たちは、黄金色に実った稲を昔ながらの鎌で手際よく刈り取り、紐で次々と束ねていきました。自分で植えた稲を収穫する貴重な体験を通して、農業への興味や関心をより一層深めてくれることが期待されます。

この学習は、12月の調理実習で締めくくられます。

